

活性化情報
中小企業
かごしま

2015
第716号

2

今月の特集

特集 創業補助金を活用した
中小企業等の事例紹介



鹿児島県中小企業団体中央会

1 特集

創業補助金を活用した中小企業等の事例紹介

17 「特別寄稿」 時代の風を読む

より良い物を求める人に

先進の特殊印刷技術を鹿児島から発信！

協業組合ユニカラー 理事長 岩重 昌勝 氏

23 中央会の動き

旅行業の新たな事業展開について研究するセミナーを開催

「組合士協会第 2 回研修会」を開催

災害時における組合間連携と BCP 策定の研究会を開催

「新春講演会」を開催

中小企業のビジネスに効く IT セミナーを開催

「組合自治監査講習会」を開催

26 組合インタビュー

鹿児島県すし商生活衛生同業組合

理事長 松延 憲次 氏

～すし業の発展と食文化の振興に取り組む～

27 インフォメーション

29 トピックス

三好産業株式会社 経営革新計画承認

31 教えてぐりぶー！組合運営（持分払戻請求権を行使しない組合員への対応）

32 Never Give Up! 元気を出そう！がんばれ中小企業

若手リーダーとして

地域と業界の活性化を目指す！

株式会社有川組 代表取締役 有川 裕幸 氏

35 業界情報（平成 26 年 12 月情報連絡員報告）

37 倒産概況（平成 27 年 1 月鹿児島県内企業倒産概況）

39 中央会関連主要行事予定

創業補助金を活用した中小企業等の事例紹介

中小企業支援のため、創業補助金やものづくり補助金、経営革新への支援、IT化推進、労働等の様々な施策があり、課題解決や新たな事業などへ挑戦する中小企業の多くが、これらの施策を有効活用しています。

「創業補助金」は、地域の活性化や海外需要の獲得を目指す創業（第二創業含む）へのチャレンジを支援することを目的に、平成24年度及び平成25年度補正予算で実施され、本会が鹿児島県地域事務局を担当しました。

本事業を活用して多くの採択事業者が様々なビジネスプランを実行し、夢の実現に取り組みました。本特集では、その中から15件の創業補助金を活用した事例を紹介します。

《事業者・概要・掲載頁》

(50音順)

事業者	概要	頁
株式会社アイリー	イオン水を使ったエコ洗浄による地域密着型ハウスクリーニング業の展開	2
株式会社Charites	こだわり商品とデザイン力による新たな市場の展開	3
株式会社喜界島薬草農園	喜界島産ボタンボウフウの商品化と販売	4
gusto	食事を通して地元の食材を地産地消で子供からお年寄りまで安心して食べられるお店	5
芝原養魚場株式会社	一人でも多くの地域の人のための淡水魚養殖並びに加工販売の事業展開	6
情熱炭火がむしゃら	鹿児島の黒牛・黒豚と有機栽培の地元野菜を使った健康志向の焼肉店の事業展開	7
株式会社セブンスヘブン	財布・鞆等革製品用オリジナルデザイン金具の日本初の小規模革工房向け極小ロット製造事業	8
株式会社そらテク	マルチコプター等ラジコンを使用した空撮技術の提供	9
株式会社南晃クリエイティヴ	人と人を花でつなぐ～オンリーワン・フラワーギフト～	10
肉食探旬issin	地元鹿児島の食材を使った手作り惣菜と天文館の活性化	11
パソコンおまかせ隊	パソコン販売・修理・買い取り	12
Fun.more.salon NEXT	オーガニック系の美容剤に特化した美容室の開業	13
Foods bar ZiN	アンチエイジング・ダイエット食等を取り入れた女性が喜ぶ創作料理と地域イベント企画による食と出逢いのあるお店	14
Blue Camel	缶詰ワインバー	15
よいやんせ	高齢者のための古民家風郷土料理店の開業	16

イオン水を使ったエコ洗浄による 地域密着型ハウスクリーニング業の展開

株式会社アイリー

■事業者の概要

連絡先	霧島市溝辺町麓 3334-7	代表者	代表取締役 川田 満
電話番号	0995-59-1011	業種	ハウスクリーニング
URL	http://www.irie-co.com		

■事業内容

高齢者等の福祉クリーニングを事業展開するとともに、イオン水を使ったエコ洗浄の事業にも取組むため、平成 25 年 9 月 4 日に株式会社アイリーを設立。平成 25 年 10 月 1 日より営業開始（正社員 1 名含む 5 名で活動開始）。事務所を霧島市溝辺町に置き、霧島市・始良市・湧水町・伊佐市・鹿児島市・えびの市を中心に活動する。

在宅・空室等のハウスクリーニング及びエアコン清掃、店舗の床や窓ガラスの定期清掃及び福祉クリーニングを行う。

■事業実施による成果等

霧島市、始良市の個人住宅（高齢者・独居老人・障がい者）、借家をターゲットに通常のクリーニング業者の手の届かない細やかなサービスを付加したメニューを用意し、差別化を図りながら取り組んだ。これまでの営業経験、人脈を活かして積極的な営業活動を行い、顧客の囲い込みや定期清掃の契約を獲得することができた。

平成 26 年 2 月からホテルの客室清掃を受託した関係で、売上也計画通りに推移したが、客室清掃員の研修費等で計画していたよりも経費増となった。

■今後の事業活動等

今後もハウスクリーニングと客室清掃を中心とした活動を行っていききたい。現在は空室清掃が中心となっていたが、夏場のエアコン清掃でかなりの顧客数を確保することができた。この顧客に対して、年末のクリーニング等で営業をかけていききたいと考えている。

また、徐々に増えている店舗等の定期清掃なども増やしていきながら年間を通して売上を確保していききたい。



店舗の様子

こだわり商品とデザイン力による新たな市場の展開

株式会社Charites

■事業者の概要

連絡先	鹿児島市下荒田 4-13-3	代表者	代表取締役 堀切 美和子
電話番号	099-296-8749	業種	健康食品の製造販売
URL	http://www.charites.net		

■事業内容

女性のための美と健康をサポートする企業として「Charites (カーリス)」というオリジナルブランドを立ち上げ、2つの商品開発を行う。「サクサク食べる納豆」は、納豆そのままをフリーズドライにした商品で納豆の栄養成分をそのまま手軽にスナック感覚で食べられるようにする。「美心 (びこころ) サプリ」は、国産サラブレッドの馬プラセンタ純度100%を使用し、納豆の粉末とコラボしたサプリメントで自己免疫力の向上等が期待できる。

パッケージデザインは女性らしいテイストに心掛け、やさしくサポートするというコンセプトに沿って仕上げる。

■事業実施による成果等

納豆という昔ながらのイメージを払拭するデザインは斬新で、消費者からの評判もよくコンセプト通りの商品を作り上げることができた。

約半年間で九州全域と東京まで販路を拡大できたことに対しては満足しているが、売上ベースで見ると当初目標には届かず、今後の大きな課題である。

■今後の事業活動等

手軽に手に取れる「サクサク食べる納豆」をまずは前面に押し出し、カーリスブランドの認知後「美心サプリ」も販路拡大していきたい考えである。いずれの商品もリピーターを増やすことが課題である。

また、美と健康をサポートするカーリスとしては、商品アイテム数を増やしていくことでカーリスブランドの構築を確実なものとし企業として成長していきたい。



「サクサク食べる納豆」「美心サプリ」

喜界島産ボタンボウフウの商品化と販売

株式会社喜界島薬草農園

■ 事業者の概要

連絡先	大島郡喜界町阿伝 1535	代表者	代表取締役 石原 健夫
電話番号	0997-55-5007	業種	ボタンボウフウ栽培及び加工
URL	http://www.botanboufu.com		

■ 事業内容

新たな地域資源の活用が望まれる中「喜界島産ボタンボウフウ」を乾燥加工して販売することを目的にした当社の取組みは地域でも注目を集めている。ボタンボウフウは多年草で栄養価が高く、動脈硬化や高血圧などの予防効果があるとされる。平成25年度、島内におけるボタンボウフウの生葉生産量は30,782kgで、その全てを粉砕加工し、最終乾燥化ベースでは4,944kgに達している。二次加工品としてメインは「潤命青汁」を開発し、地域内外において販売を進めている。平成25年度は35事業所・個人に対して461万円の実績となる。

■ 事業実施による成果等

実施一年目の主な目標としては、加工技術の研究と製品の安定供給、製造原価計算と損益分析、加工技術者の養成及び輸送方法と輸送料金の4項目を考えていたが、加工技術や製品の供給等についてはある程度達成できた。製造原価計算と損益分析については当初予測を大幅に下回ることとなった。要因としては、生葉と茎での仕入価格に差異を設けていなかった等の反省点があり、今後は原料確保の取組みを細かくしながら高収益に結びつけたい。

■ 今後の事業活動等

本事業により、一次加工技術については、ある程度の道筋をつけることができた。乾燥製品を粉末加工により青汁等の商品化を行い、販売ルートも軌道に乗りつつある。

今後の課題としては、まず、良質の原料確保があげられる。この件については、生産農家の協力が必要であり、現在60件程度の農家に対しての生産指導や実施農家自体の件数を増加させることが不可欠だと考える。生産農家に対して安定した価格で引き取ることは、生産農家の増加にもつながり、町の農業振興の柱に成り得るものと期待する。そのためには、青汁中心の二次加工品の種類と乾燥葉の引き受け先を増やすことも検討している。



喜界島産ボタンボウフウ

食事を通して地元の食材を地産地消で 子供からお年寄りまで安心して食べられるお店

gusto

■事業者の概要

連絡先	大島郡和泊町和泊 9-3	代表者	代表者 奥間 和志
電話番号	090-5308-3221	業種	飲食業
URL	—		

■事業内容

現在、沖永良部島では、ランチ営業をしているお店が少なく、また、船の上り下りの時間ともランチタイム内という最高の条件の時間帯にもかかわらず、お昼ご飯を食べる場所がないという現状がある。また、港への送り迎えのお客様からの強い要望があることにも気づき、自分の今までの知識や経験、技を活かして、港や空港からも近い場所で飲食店をオープンする。

ランチ・ディナーメニューを低価格で提供し、家族連れでも気兼ねなくご来店いただける店作りをし、食事を通して島民のコミュニケーションや情報交換の場として明るい笑顔の絶えない環境を作る。

■事業実施による成果等

客層は、女性客が中心で約8割を占める。島内には他にない食事を提供する店として幅広い年齢層から支持されている。

本事業により2階の内・外装も整備したので団体客にも対応することができ、売上向上に繋がっている。

■今後の事業活動等

固定客に対しては顧客管理を徹底して季節のイベント（ハロウィン、ボジョレー・ヌーボー、忘年会・新年会、バレンタインデー等）の企画を案内し、足を運ぶ機会を増やしていただき、2階をさらに活用して売上向上を図る。同時に、テイクアウト品の充実・宣伝にも努める。

行政や商工会等の主催する各種イベントに積極的に参加し、島内経済の向上や観光客の増加を自店の売上に繋げていきたい。



店舗の様子

一人でも多くの地域の人のための 淡水魚養殖並びに加工販売の事業展開

芝原養魚場株式会社

■事業者の概要

連絡先	鹿児島市喜入中名町 3501-1	代表者	代表取締役 外菌 慶次
電話番号	099-345-1017	業種	淡水魚養殖及び加工販売
URL	—		

■事業内容

自社所有の井戸水は年間を通じて水温が18℃で安定しており、水質検査は食品工場検査に合格した。この高品質の天然水を活用し、今までと違う美味しさのニジマス等の淡水魚の養殖並びに加工販売を展開する。

養殖は、有眼卵を仕入れ、孵化器での孵化を行い、2週間後に浮上してきた頃から稚魚用飼料を成長に合わせて5段階に分け与える。稚魚の成長に合わせて、大きな池で分散養殖を行い、重さが100g（体長20cm）までの出荷サイズとなったところで出荷する。施設管理は、貯水タンク及び池の清掃点検を定期的実施してノウハウを構築する。また、良質な天然水の安定確保を図るため新たに3基の井戸を掘削する。

■事業実施による成果等

事業展開初年度で経験が浅いこともあり、池の消毒手順が規定化していなかった点など満足のいく達成度は低かったが、要因分析や対策など時間をかけ実施したことで次に繋がる経験となった。

■今後の事業活動等

現在のニジマス養殖で孵化魚生存率を向上させ、養殖池の増築をする中で、10,000匹/月の出荷と販路の拡大に努め、当初目標の加工販売並びにネット販売にも繋げる。正社員及びパート社員の雇用を促進し、地域の活性化に貢献する。

現在、ニジマスの養殖で使用した水を一日約350トン水路に排水しているが、この水を再利用し、周辺の休耕田を利用したワサビの栽培に繋がりたい。

また、無料の水汲み場を設置して地域の皆様に飲んで頂いているが、好評を頂いており今後はナチュラルミネラルウォーターの販売も検討したい。



養魚場の様子

鹿児島島の黒牛・黒豚と有機栽培の地元野菜を使った 健康志向の焼肉店の事業展開

情熱炭火がむしゃら

■事業者の概要

連絡先	始良市西餅田 561-5 松元ビル 101	代表者	代表者 一次 英治
電話番号	0995-65-7419	業種	焼肉店
URL	—		

■事業内容

鹿児島島を拠点とする創作料理・居酒屋での経験を活かし、鹿児島島の黒牛、黒豚、地鶏、有機栽培された新鮮野菜を使った炭火焼の焼肉店として、ビジネスマンや若者、ファミリー層など健康志向の店としてご利用いただけるような店舗経営を行い地域社会に貢献する。

店舗は、始良市役所に近い西餅田の松元ビルを借用し、カウンター5席、テーブル15席で従業員は厨房、調理担当者として1名雇用した。当地域では珍しい炭火焼で、黒牛・黒豚を中心メニューとしてお客様の要望に応じて地鶏も提供するとともに、有機栽培されたキャベツなどの野菜を地元農家から仕入れるなど、女性やファミリー層に提供している。

営業時間は、午後6時から翌朝の2時まで、毎週火曜日を定休日としており、“お客様との対話を大切に”をモットーに順調な経営を続けている。

■事業実施による成果等

創業して一年が経過したが、これまでの居酒屋における店長経験や地元始良市の出身であることなどから当初計画通りに推移している。売上は、月毎の変動はあるもののほぼ予想の範囲にある。また、店舗の規模についても従業員と二人で経営できる適正な範囲である。

■今後の事業活動等

固定客も増加傾向にあるので、新メニューの研究・開発に努め、女性やファミリー客にもご利用いただける焼肉店として経営していきたい。商品価値がわかる客層の増加を目指すため、品質にこだわったメニュー開発を調査研究しており、創業1周年の記念商品として提供したいと計画している。

また、地元の季節野菜を使ったサラダメニューなど、自店独自の店舗経営を目指す。



こだわりの食材

財布・鞆等革製品用オリジナルデザイン金具の 日本初の小規模革工房向け極小ロット製造事業

株式会社セブンスヘブン

■事業者の概要

連絡先	始良市平松 7260-2	代表者	代表取締役 野間 由紀子
電話番号	0995-73-4136	業種	彫刻加工した金具の製造販売
URL	http://www.lw-labo.com/index.htm		

■事業内容

自社工房を改修し、新たな設備（金属に彫刻をする卓上精密彫刻機、金属を切削加工する施盤、金属にメッキ加工する小型メッキ装置、金属を溶接する半自動溶接機、金属を非接触清掃・冷却するエアークンプレッサー、金属にカラフルなメッキ加工をするセラミック電着装置、セラミック電着装置にてメッキしたものを乾燥焼付けする小型焼付乾燥機）を設置し、彫刻加工によるオリジナル金具類の製造を行う。

また、主な顧客である小規模革工房のニーズに合わせ、極小ロットから対応することでニッチ市場での受注を見込む。さらに、本事業専用の自社ホームページを作成し事業紹介及び受注促進に努める。

■事業実施による成果等

本事業の実施により、これまでになかったオリジナルロゴ入り金具の極小ロット製造事業が実現した。

また、株式会社を設立し念願であった新事業による法人化を実現することができた。

初年度は大きな販売実績には至らなかったが、本事業専用のホームページを開設して事業案内及び受注の促進に努めている。

■今後の事業活動等

案内を送った顧客からの問い合わせも多く、手応えを感じている。今後は、顧客のニーズをデータ化し、需要の多いものは弊社オリジナル商品として製造し、全国の小売店に対して提供することでネット市場を越えた販売網の構築を目指す。



卓上精密彫刻機

マルチコプター等ラジコンを使用した空撮技術の提供

株式会社そらテク

■事業者の概要

連絡先	鹿児島市石谷町 3208-1	代表者	代表取締役 上山 秀寿
電話番号	099-213-9008	業種	空撮業務
URL	http://www.soratech.co.jp		

■事業内容

平成26年1月21日、マルチコプター等ラジコンを使用した空撮業務を行うため会社を設立。本事業を円滑に実施するため、従業員を1名採用、空撮業務用マルチコプター購入、さらに作業環境向上を図るため事務所改装を行うとともに、ホームページや案内ハガキ、パンフレット等を作成し、広報、販路開拓を行い、空撮のサンプル撮影をもとにマルチコプターによる空撮の良さを実際に味わってもらおう。

■事業実施による成果等

第1段階として、建築・土木、不動産業者へのサービスをメインに考えており、ホームページなどインターネットを活用した広報活動、ハガキやパンフレットなどを用いた営業活動により、従来のセスナやヘリからの空撮とは違うマルチコプターでの空撮のメリットを紹介した。

その中で、発注いただいたお客様からは、手元で映像を確認しながらの撮影や提供する画質の良さに驚きと喜びの声をいただいている。また、工期の切り替わりの時期に改めて問い合わせをいただき注文に繋がった例もあり、本事業のマルチコプターを活用した空撮が新たな空撮の一手段として周知・浸透してきたのではないかと考えている。

さらに、災害現場撮影で官公庁への登録及び指名願いの申請への足がかりを作ることができたこともあり、事業としての一歩を十分に踏み出せたと考えている。

■今後の事業活動等

本事業で周知できたお客様からの案件を一つ一つ大切にこなし、周知が完全にできていない領域にも口コミで広がるような作業の精度、効率の向上を図っていく。また、災害現場等の危険個所での迅速な状況把握、防災対策、観光イベントの撮影など活躍する場を拡げ、「より良い鹿児島」づくりにさらに寄与できるよう技術、体制を整えていきたい。



錦江湾を空撮

人と人を花でつなぐ～オンリーワン・フラワーギフト～

株式会社南晃クリエイティブ

■事業者の概要

連絡先	出水郡長島町平尾 1034-2	代表者	代表取締役 南條 寛仁
電話番号	0996-88-2666	業種	花卉類の移動販売、婚礼装花
URL	http://ichihana.net/home		

■事業内容

花の小売りは、定番の花のみならず海外輸入の珍しい花や季節を感じさせる旬の花を移動販売車両で販売する。また、盛花やブーケの制作販売は、生花を使った盛花やプリザーブドフラワー等の加工花の制作、ブライダル用ブーケの制作販売を注文形式にて行う。

会場の装花については、「希少な花」でホテルやレストラン等の式場を装飾するサービスを提供する。併せて、「プロポーズ花束」と題し、顧客のニーズに応じてホテルの婚礼フェアやパーティ等でサプライズ企画の提供も行う。さらに、アレンジメントフラワー等の洋風生花教室及び地元の主婦を対象に保有農地を利用したガーデニング体験教室を開催する。

■事業実施による成果等

移動販売車両での販売は、地域のイベントに呼ばれる機会も多く、また既存の顧客が新規顧客を紹介してくれることもあるなど、今後の事業展開に期待できる。

婚礼会場の装花については、ホテルでの婚礼が6件、レストランでの小規模婚礼が4件と当初目標件数の半分だったが、当社が手掛けた結婚式への参列者が新たな顧客になったり、紹介による他式典への仕事依頼もあり、顧客数は増加傾向にあり目標売上に近づきつつある。

■今後の事業活動等

本事業を行うことで知り得た顧客情報をもとに、メールやDM等を活用してお得情報や既存のお客様限定のプレゼント企画を行うなど特別サービスを提供する。同時に、既存の顧客を大切にしつつ新規顧客も獲得するため、更なる広告宣伝や移動販売による自社サービスの魅力発信の営業展開を実施する。さらに、店頭スタッフの人材育成に努めるとともに、人事交流や営業戦略の改善に力を入れていきたい。



移動店舗の様子

地元鹿児島食材を使った 手作り惣菜と天文館の活性化

肉食採旬issin

■事業者の概要

連絡先	鹿児島市伊敷台 4-3-17	代表者	代表者 河野 真也
電話番号	099-223-2914	業種	サービス業
URL	—		

■事業内容

地元鹿児島食材を使った手作り惣菜の製造販売を行うために、平成25年4月に鹿児島市天文館マルヤガーデンズ地階において、ミートデリカを中心とした惣菜類販売持ち帰り飲食業「肉食採旬 issin」を創業した。天文館という立地から、一人暮らしのOL・働いている主婦・サラリーマンの手土産をターゲットに旬の商材、新商品の開発を行う。

また、肉屋からのダイレクトな商品仕入れによるコストダウンの実現、ロープライス・ハイクオリティな商品提供を行うと同時に、故郷鹿児島を愛し、鹿児島全体を盛り上げていきたいという気持ちを「地産地消」という形で商品化する。

■事業実施による成果等

当初の事業計画通りに初年度においてマルヤガーデンズ（天文館地区）で基礎をつくり、幅広い認知と固定客化を行うという目標を達成できた。具体的には、マルヤガーデンズ内店舗においての坪当たりの売上高がトップにくるなど、固定客の増加により当初目標とする売上高の実現ができています。また、マルヤガーデンズ地階飲食売場に活気を与えることにより、天文館の活性化に貢献することができました。

一方、原価率が営業時間終了前の値引き販売実績により、当初目標と比べて上昇している点が課題となった。

■今後の事業活動等

事業計画の2年目においては、営業活動を確実なものとし、1年目の成功点、反省点を検証し、天文館地域全体の更なる活性化を行っていききたい。

3年目においては、他地域に販路を拡大し、郊外又は他商業施設への出店アプローチを実施していく。ユーログリル等の補助対象設備を生かし、更なる新商品開発を実施していく。



店舗の様子

パソコン販売・修理・買い取り

パソコンおまかせ隊

■事業者の概要

連絡先	霧島市国分中央 1-7-36	代表者	代表者 廣瀬 雅之
電話番号	0995-73-7258	業種	パソコン販売・修理・買い取り
URL	http://windysky.cloud-line.com/		

■事業内容

整備済み中古パソコンの販売を通じ、デジタルデバイスに関する“お客様の困った”を解決できる店作り及び地域の様々なIT関連の需要に対応するため、霧島市国分中央にて、パソコン専門店を出店した。中古再生パソコンの販売が平均来店者数月平均 150 名、販売台数月平均 30 台、修理持ち込み件数は月平均 90 件と地域のITに関連する需要に依っている。

また、IT業界の経験が長い専門スタッフを2名配置し、通常、家電量販店への持ち込みだと3週間程度かかる修理案件でも、「即日から最長5日でのお渡し」と迅速な対応を行っている。

■事業実施による成果等

霧島市国分中央にパソコン専門店「パソコンおまかせ隊」を出店することができた。パソコンやスマートフォンの修理相談が、1日平均3件あり、家電量販店の修理価格の3分の1での修理と短期間での納品を通じて地域のお客様から“ありがとう”の声をいただいている。出張サービスに関しても問い合わせが月に10件前後あり、霧島市のIT需要に貢献できている。

特に、WindowsXPのサポート期間終了時には、ニュース等での告知によりお困りの法人・個人のお客様のご要望を拝聴しお客様のニーズに合わせた提案を行った。

当初の計画どおり、数値的にも順調に推移し、雇用においても目標を達成できている。

■今後の事業活動等

鹿屋市に2号店を出店し、その後は、九州内の第二都市への出店を加速させ、地域のお客様の「ITでの困った」を解決できるお店作りを随時行っていきたい。



店舗の様子

オーガニック系の美容剤に特化した美容室の開業

Fun. more. salon NEXT

■事業者の概要

連絡先	鹿児島市易居町 10-4-805	代表者	代表者 山下 洋一郎
電話番号	099-208-5151	業種	美容室
URL	http://fms-next.com		

■事業内容

パーマ液やカラー剤などの薬品に多くのハーブを含む低刺激性の製品を使用し、頭皮にやさしいサロンを経営する。併せて、オーガニック系のシャンプー剤やトリートメント剤の販売も行う。

アトピー性皮膚炎や敏感肌の人は、カラーやパーマをかけることができない人が多く、ヘアスタイルも限られていた。そのような悩みを抱えた人でも使用できる刺激性の少ない薬品を使用することで、様々なヘアスタイルを楽しんでいただける店づくりをしていく。

また、パーマ液やカラー剤などの薬品に低刺激性の製品を使用するだけでなく、自宅での頭皮ケアについても肌にやさしく環境にもやさしいオーガニック系で安心して使用できる製品を勧める。

■事業実施による成果等

美容師補助の従業員確保に苦慮した。補助対象期間のうち5ヶ月間は1人での営業が続いたが、当初の目標売上の月商130万円は達成することができた。

平成26年4月後半より2人の美容師補助者が入社したことで、予約による顧客確保に余裕が出てきた。当初の目標をほぼ達成することができ、1年目としては満足した結果が出ている。

■今後の事業活動等

新たなメニューとして、育毛・リラックス系のスパメニューを考えており、お客様へのアンケート調査を行っている。オーガニック系のアロマオイルとクリームトリートメントを使用したスパについては計画進行中である。



店内の様子

アンチエイジング・ダイエット食等を取り入れた女性が喜ぶ 創作料理と地域イベント企画による食と出逢いのあるお店

Foods bar ZiN

■ 事業者の概要

連絡先	鹿児島市谷山中央 4-4824-1F	代表者	代表者 諏訪園 真
電話番号	099-266-1439	業種	飲食業
URL	—		

■ 事業内容

女性にうれしい美容食・アンチエイジング食を取り入れた創作料理を中心に谷山地域の女性が集まる憩いの空間となる店及び男性客も巻き込んだ各種イベントにより男女が集う場を提供し、安心安全で健康的な「食」と「出逢い」のある店を提供する。

特に、サプライズイベントでは、誕生日・記念日のお祝いサービスをご利用される方が多く予約時に事前にお客様との打合せを行い、主役の方には全て内緒で好きな音楽等を用意し、当日はご希望のタイミングで店内の電気を消し音楽とともにメッセージプレートを提供、写真撮影し加工後印刷してフォトフレームに入れてお店からプレゼントしている。

■ 事業実施による成果等

1年目に計画していたアンチエイジングを取り入れた美容に良い食材を中心とした料理の提供は日々実践済みで、好評でお褒めの言葉をいただいている。2年目からは、更なる認知度を上げるべくフリーペーパー、ポイントサイトや口コミサイトを活用し始めたところ効果が出てきている。

お客様から街コン開催の要望も増えてきており、3年目に計画していた「街コン」の実現へ向けての足がかりとしたい。

■ 今後の事業活動等

お客様の期待に沿えるよう近隣の店と協力して“街コン”を計画している。料理については、女性には低カロリー高ビタミンなど健康に良く美味しいものを追求し、男性には亜鉛などミネラル含有の多い食材もアピールしたいと計画中的である。

今までやってきたなかで、帰り際まで楽しそうなお客様をみると達成感があるので、もっと「来てよかった」といっていただけるようなサービスを模索し、実践していきたい。



店舗の様子

缶詰ワインバー

Blue Camel

■事業者の概要

連絡先	鹿児島市東千石町3-41 CAPARVO 112号	代表者	代表者 宮原 聡
電話番号	080-5207-5451	業種	飲食業
URL	—		

■事業内容

手軽でおいしい缶詰とソムリエの厳選したワインを楽しんでいただくバーを経営する。鹿児島は、アルコールの消費量は全国で第1位だがワインの消費量は全国でも最下位を争う程低い。その理由としてワインの敷居の高さや値段が高いというイメージがあげられる。

そこで、値段設定の低い店にすることでワインを親しみやすく感じてもらい、ワインのソムリエとして鹿児島のワイン文化を盛り上げていきたい。

平成25年8月31日、鹿児島の繁華街天文館に店舗を構えた。缶詰は200円から、またワインは500円（焼酎、ビール、日本酒も同額）から提供する。17時から24時までの営業（不定休）で1日20人の来客を目指す。

■事業実施による成果等

常連客もつき、ワイン好きな方も増えてきており、鹿児島のワイン文化を盛り上げる意味では満足している。

しかしながら、売上も客数も当初の計画に到達していない状況である。予想より客単価が高く滞在時間が長い結果となっているので、メニューや価格設定の見直しが必要である。

■今後の事業活動等

開店当初に比べ客数や常連客も増えているが、なかなか新規客が増えない状況である。もっと広告媒体を活用して店の存在を知ってもらい、来店のきっかけを増やしていきたい。常連客にはDMの頻数を増やし来店数を増やしていきたい。



店内の様子

高齢者のための古民家風郷土料理店の開業

よいやんせ

■事業者の概要

連絡先	指宿市湊 2-22-17	代表者	代表者 青見 律子
電話番号	0993-23-3441	業種	飲食業
URL	—		

■事業内容

鹿児島県の高齢化率が高まるなか、高齢者が気軽に1人で行ける食事の店、会話を楽しめる店は以外と少ない状況にある。そこで、高齢者が明るく楽しく過ごすことができ、かつ健康にも配慮した食事が楽しめる場所を提供する。

具体的には、昭和のイメージを醸し出した店舗で昔懐かしい思い出と郷愁を与え、経営者とお客様が親近感を持った会話のできる雰囲気づくりを重視し、食事は有機野菜と無添加食品にこだわり、鹿児島県の特産品（農産品、農産加工品、水産物、水産加工品、畜産物、畜産加工品）を主とした健康的な食事を提供していく。

■事業実施による成果等

平成 26 年 8 月 12 日に開業し、ランチは通常営業、夜は予約客のみとしたが、予約が多く順調に推移している。昭和のイメージを醸し出した店舗で昔懐かしい思い出と郷愁を与え、和みと安らぎを感じていただいている。店舗デザイン、レイアウト、また料理も鹿児島県産こだわりの食材による提供で非常に好評である。

■今後の事業活動等

今後も、地域住民、特に高齢者に喜ばれる店の雰囲気づくりはもちろん、味にもこだわり固定客やリピーター、口コミでの営業戦略を行っていきたい。



健康に配慮した料理

「特別寄稿」時代の風を読む

より良い物を求める人に 先進の特殊印刷技術を鹿児島から発信！

協業組合ユニカラー 理事長 岩重 昌勝 氏



岩重 昌勝

昭和 49 年 4 月に鹿児島県内の印刷業 5 社により設立された「サツマ特殊製版協同組合」が当組合の前身です。昭和 52 年 1 月に、その中の 4 業者が印刷業としては県内初となる完全協業による組織変更を行い「協業組合ユニカラー」が生まれました。それぞれの専門印刷技術を活かし幅広く受注実績を伸ばしデジタル化等の時代の変化にいち早く対応するため積極的な設備投資と更新及び技術研鑽を進めてまいりました。

【ユニカラーの経営方針】

『より良い物を少しの人に』

当組合は印刷という手段を通して量を追わず価値を求めることを本分とします。それは多くの人々に受け入れられる物を追い求めるよりも、たとえ少しの人であっても物の価値を理解してくれる人が必要としている物を提供する企業を目指すということです。そして、お納めした商品の役目が終わっても他の目的でも再度使用したいとお客様が願えるような企画・製品作りを心がけています。

【ユニカラーの目標】

当組合では、毎年基本方針を掲げており、平成 26 年度の基本方針は「営業力とは説得力であり、提案力であり、行動力である。高度な現場力がそれらを裏付ける。次なる 10 年を確かなものに。」です。これは当組合の業務内容がより専門分野の色合いが強くなってきており、営業部門のスキル向上が受注増には欠かせなくなってきております。またそのニーズを具現化するのには現場の確かな技術力が担保されなければなりません。

東京進出を機に従業員一同、50 周年へのスタート元年に心を新たに邁進します。

【経営革新のきっかけ】

私が組合理事長に就任した頃は、時代はまさに焼酎ブームで多くの焼酎メーカーが自社商品のイメージを高め消費者の目に留まり偽装防止も兼ねた高品質なラベルを求めました。このことが製品に対する意識を変えるきっかけになりました。以来、当組合では技術力を高め品質で勝負する方針に転換しました。そして「一味違うもの」「限られたユーザー向けに良質で他では真似のできないもの」を求める「声」にお応えする「企業」を目指して私たちユニカラーは【特殊印刷】を主力とした印刷会社に生まれ変わりました。この動きを具現化するため経営革新計画「多目的高性能印刷機導入による高付加価値役務の増強」を策定し、鹿児島県の認定を受けました。その他には抗菌製品技術協会会員資格の取得やレンチキュラー印刷技術の実用新案登録認定もいただいております。

【ユニカラーの挑戦】

UV印刷により産み出される特殊表面加工の数々や、紙以外の素材を使った今までにない商品群は、多くの「他にない何か！」を求めて止まない方々に支持されております。

他所にはできない【特殊な印刷】で今までにない素材を新しい商品に変えていくことが、私ども「ユニカラーの挑戦」です。

【ユニカラーの沿革】

昭和 49 年 4 月	サツマ特殊製版協同組合設立
昭和 52 年 1 月	協業組合ユニカラーへの組織変更
平成 5 年 8 月	工場増築。新型印刷機を始めとする設備機器の大幅な増設
平成 9 年 9 月	コンピューターフォーム伝票印刷機の更新・関連機器の増設
平成 16 年 8 月	次世代印刷機 三菱 NEW ダイヤ 306W 導入
平成 25 年 10 月	デジタル印刷機 HP Indigo 5600 Digital Press 導入
平成 27 年 2 月	東京営業所開設

平成26年度 協業組合ユニカラー 基本方針

営業力とは説得力であり、
提案力であり、行動力である。
高度な現場力がそれらを裏付ける。

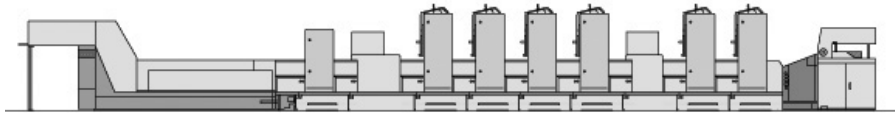
次なる10年を確かなものに。

● 特殊印刷

厚さ1mmが刷れるUVオフセット印刷

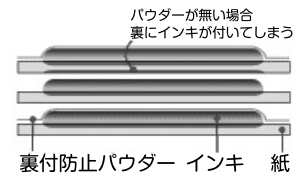
従来の印刷ではインキの裏付き防止のためパウダーを使用します。この裏付き防止パウダーは不純物の付着を極力嫌う食品・包装紙・容器などには衛生的とはいきれません。UVインキの場合、従来のインキ被膜に比べ傷に強く乾燥時間も短いので裏移りを防止するパウダーも使用しません。プラスチックフィルムやアルミ蒸着紙のような非吸収性素材にも印刷可能です。それがUV印刷の大きな特徴です。

〈最新鋭 UV オフセット印刷機 MITSUBISHI NEW DAIYA 306W〉



●従来の印刷

乾燥に時間がかかる。



●UV印刷

光(紫外線)を当てると硬化、乾燥



動く印刷レンチキュラー印刷

レンチキュラー印刷とは、印刷物を立体的にみせたり見る角度によって画像イメージを変えたり動きを表現するなど様々な効果を発揮させる印刷技術です。

当社のレンチキュラー印刷は特殊レンズシートにUVインキを使用して裏面から直接印刷を行う事により今までにない1つの工程で同じ特殊効果が得られ、ローコスト&スピーディな対応が可能となります。



透明シートがさらなる表現をプラスチック印刷

ポリプロピレン (PP) シートへの印刷は今まではシルク印刷が主流でしたが、UVオフセット印刷の導入によりダイレクト印刷が可能になりました。軽くて丈夫なPPシートはクリアファイルや各種カバーなどに活用出来ます。素材が透明なので透明を活かしたセル画的な表現等も可能です。

2つのニスが視覚と触覚に訴える疑似エンボス印刷

疑似エンボス印刷とは、オーバープリントUVニス(以下OPニス)と光沢UVニスという2種類の性質が異なるニスを使用することによりオフセット印刷でエンボス調の凹凸をつくり浮きだし効果を見せる事ができる印刷技術です。通常のエンボス加工を行わず印刷機上で浮きだし効果を実現するため経済的に短納期でお客様のご要望にお応えしています。



●疑似エンボス印刷の仕組み

①OP(下刷)ニスを印刷



②光沢ニスを引く



③UV硬化させる



④完成



金属質な質感に目を引くアルミ蒸着紙印刷

従来の印刷では再現が非常に難しく乾燥しにくいいためコストと時間を有したアルミ蒸着紙印刷。金紙、銀紙、ホログラム蒸着紙等、高級でありながら重厚、重要な情報の偽造防止など、これまで以上のお客様のニーズに対応しております。

クリアなコーティング特殊ニスコーティング

UVクリア・ニスコーティングは印刷物の表面を保護し、また光沢加工を施すことによって上質でありながら印象的な表現を可能とします。そしてPP貼りとは異なり摩擦によって剥がれたり製品が痛む場合にも効果を発揮し再生利用も可能です。UVクリアニスの原料は、ほぼ100%が樹脂なので従来のコーティングとは違い環境問題にも適合した自然にやさしい表面コーティングです。

世界最薄ダンボール G フルート印刷

私たちの身の回りに溢れる様々な商品を梱包する様々な箱。ユニカラーではGフルートへの直接印刷が可能です。

Gフルートは特殊な技術により開発された世界最薄の段ボール紙です。通常的美粧箱と比べると強度は同等でも重量が20%軽量化が図ることができます。段ボールなので容器包装リサイクル法の対象外になりますので賦課負担金は不要です。



清潔・安心・安全な製品を 抗菌印刷

抗菌とは、製品の表面における細菌の増殖を抑制すること。菌を死滅させたり除去する殺菌・除菌とは区別されます。

弊社では抗菌剤入りのインキやニス素材に印刷機を使い抗菌剤を万遍なく塗布するため表面に抗菌剤の層が形成され抗菌効果が非常に高く衛生的な印刷物ができます。



この商品は印刷面の表面を抗菌処理加工をしています。
(特許第3030310号、第3401571号)

SIAAマークは、ISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

抗菌力試験結果 (試験片の生菌数測定結果)

試験機関：財団法人日本食品分析センター

大腸菌

生菌数(平均値)		35℃ 24時間後		約	
未加工	210,000個	29,000,000個	約138倍	抗菌印刷	210,000個
		23個	約1/10,000		

黄色ブドウ球菌

生菌数(平均値)		35℃ 24時間後		約	
未加工	190,000個	1,300,000個	約6.8倍	抗菌印刷	190,000個
		検出せず	滅菌		



ユニカラー
抗菌コートマーク



自然のぬくもりを感じさせる 竹紙印刷

鹿児島県は日本一の竹の生息域ですが、早い竹の成長が他の植物の成長の妨げにならないように定期的な間伐が行われています。しかし、間引かれた竹や杉は近年では使い道が減少し、そのまま放置されていました。その間伐材をパルプにした紙を使うことで森林の成長を促し、さらには生態系の保護、山里、川や海にも良い影響を与えることとなります。

輸送時の二酸化炭素の排出量も削減でき環境に優しいカーボンオフセット印刷です。

企業として環境の為に出来ることを考えたら、ここにたどり着きました。



● 販売促進支援

やさしさをデザインする MUD 印刷

社会は様々な情報の伝達手段に溢れています。しかし、デザインや文字の大きさ、書体、色使い等に配慮されていないものが多く、高齢者や色覚障がい者の方等は情報が読み取れずに不便を感じている人が増えています。日本は超高齢化社会となり高齢者はますます増えていきます。情報伝達に不便を感じる人は日本国内に約500万人以上いると考えられます。

わたしたちユニカラーでは「やさしいデザイン」をスローガンに掲げ、一般の人はもちろん高齢者・障がい者・色覚障がい者など誰もが使いやすくより見やすい印刷物を中心とする様々なメディアを提供し、より良い社会環境づくりに貢献しようと考えています。

溶剤インクで発色・耐候性向上 大判インクジェット印刷

近年大幅に普及した大判インクジェット。しかし、今までのインクジェットは、インクが水性で、水、光に弱く、耐候性を求めた顔料インクも陽射しの強い場所では1年持たず色あせる場合もありました。

当社はその耐候性を向上させるため、ソルベント系インクジェットを導入。水性インクに比べ、耐光性、耐水性に優れ、色再現範囲もインク濃度も水性インク以上の品質を実現しました。

(過去の実績)



イベントブース



店舗電照看板



ビッグラッピング

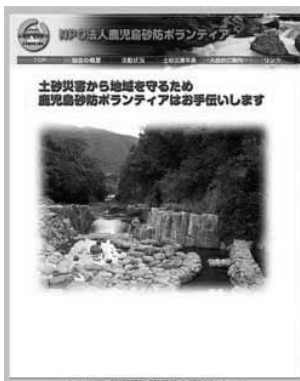


店舗入り口タペストリー

インターネットから世界へ ホームページ制作

今までは印刷は印刷する会社で、ホームページはホームページを作る会社で制作するのが一般的な考えでした。しかし、印刷もホームページも同じデジタルデータを使用して作られます。デジタルデータ制作は別々に頼むより一括して制作すればコストも抑えられトータルデザインにも優れたパンフレットとホームページの制作が可能になります。

(過去の実績)



鹿児島砂防
ボランティア協会様



だるま寿司様



有限会社 中新商店様



カバノアナタケ本舗様

印刷物をネットで配信 電子ブック制作

チラシやカタログをどんなにたくさん印刷しても日本中、世界中に配る事は不可能ですがインターネットを利用すれば、それが可能です。しかし、従来の掲載法である PDF 書類などは何十ページもある場合は容量も大きくなりダウンロードに相当な時間がかかってしまいます。電子ブックなら PDF に比べてストレス無くパソコン上でカタログを閲覧でき、また実際の冊子をめくるような感覚で、見ることができます。電子ブック制作のデータは実際の印刷データを流用する事ができますので大変お得です。商品カタログ、会社・学校案内パンフレット、店のメニューブックの公開など、幅広いジャンルでの効率的なご利用が期待できます。

(過去の実績)



だるま寿司様



永建工業様

音と映像で伝える 映像制作

商品パンフレットを制作した際、より効果的な販売促進をかけるために、商品紹介の映像メディアを作りませんか？ビデオCDから、DVDまで様々なメディアに対応できます。また、テレビCMなどの制作も可能です。



ユニカラーPRV 2005



ユニカラースポットCM(15秒)

小ロットから対応 特殊ノベルティ

コンパクトミラーやピルケース・アトマイザーなどのコスメ関連アイテムをはじめ、靴べらやカードケース・マネークリップなどのパーソナル小物まで様々なジャンルの金属を中心とするOEM・ノベルティの製作を承っております。名入れをするだけの「つまらないノベルティ」にご満足できないお客様は、是非一度、お気軽にお問合せ下さい。



● ユニカラーオンラインショップの案内

鹿児島県には誇るべき豊かで素晴らしい観光資源・地域資源があります。九州新幹線全線開通をきっかけに、鹿児島は観光を基軸に産業振興を推し進めていく必要があります。

当組合も微力ながら鹿児島の地域資源である「竹」を使用した文具等の商品開発・販売を行うことで、鹿児島産品を活用したビジネスに取り組んでいます。

● 最後に

鹿児島の豊富な資源を活かし、中央会に属する様々な異業種の業界・企業が繋がることで、本県経済がさらに発展するものと確信しています。



【ユニカラーの概要】

- 設立：昭和49年4月（昭和52年1月 協業組合ユニカラーに組織変更）
- 業種：総合印刷業
- 営業品目
特殊印刷、商業印刷、パッケージ印刷、フォーム印刷、出版物印刷、プランニング・デザイン、イベント企画・野外広告、大判プリント出力、Web構築、マルチメディア・映像企画制作・デジタルコンテンツ制作、軟包装資材販売等
- 本社：鹿児島市小山田町 7276-3 TEL 099-238-5525 FAX 099-238-5534
- 営業所：東京営業所・串木野営業所
- HP：<http://www.unicolor.jp/>
オンラインショップ：<http://www.unicolor.jp/shop/index.html>

●旅行業の新たな事業展開について研究するセミナーを開催

1月16日、指宿市の「指宿ベイテラス HOTEL&SPA」で鹿児島県旅行業協同組合を対象に新規事業セミナーを開催した。

株式会社日本旅行営業企画本部 ICT 営業推進部担当部長の秋山秀之氏を講師に招聘し、「旅行業の戦略と生き残りをかけて」と題して講義が行われた。

秋山氏は、「観光庁の発表によると訪日外国人客数は増加傾向にあり、昨年1千万人の大台を突破した。円安の影響で訪日旅行に割安感が出たことや、日本とアジア方面を結ぶLCCの就航拡大が追い風となったことが主な背景である。」と旅行マーケットの現在の環境について述べ、本県観光業者の生き残り戦略として「九州各地との直行便が多いアジア各国からの集客は、大きな可能性を秘めている。バブル期に日本人が海外で多額の買物をしたように、中国人観光客がもたらす経済効果は非常に魅力的である。彼らがショッピング以外にも楽しめるように、地域の旅行会社がインバウンド向けに観光ツアーの導入を検討すべきである。」と提言した。最後に北陸新幹線の開業に伴って九州新幹線の利用客減少が予想されるため、地域の旅行会社が一体となり、行政や関係機関との連携を強め、地域の魅力を内外に広く発信していくことが大切であると締めくくった。



●『組合士協会第2回研修会』を開催

1月16日、鹿児島市の「アーバンポートホテル鹿児島」で、鹿児島県中小企業組合士協会第2回研修会を開催した。

研修会は、「柔道整復業界についてと現況や今後」と題し、鹿児島県柔道整復師協同組合の野村哲夫理事長が講演を行った。

野村氏は「もともと組み討ちの技である柔術は「殺法(武技)」と「活法(気絶した者の息を吹き返す)」に分けられ、骨折・脱臼・打撲・捻挫などの外傷の治療を行う活法が柔道整復師のルーツとなっている。柔道整復師は、専門学校で3年間の修学後、国家資格に合格すると取得でき、取得者は病院等での勤務や整骨院を開業できる。現在、県内の整骨院数は約200件と飽和状態になっており、売上の低下につながっている。」と現状を説明した。業界の今後については「高齢化社会が進むにつれ、高齢者が健康で自立した生活を送るための機能訓練の手伝いをする機能訓練指導員が注目されており、今後、需要が高まることが期待される。組合では柔道整復師の介護分野への参入を後押しするシステムの構築に向けて取り組んでいるところである。」と述べ、柔道整復師が増加し、競争が激化する中で新分野への参入を模索している業界の今後について語り、講演を締めくくった。



●災害時における組合間連携と BCP 策定の研究会を開催

1月20日、霧島市の「サン・あもり」で、始良市管工事業協同組合、霧島市管工事業協同組合、曾於市管工事業協同組合の3組合を対象に組合間連携研究会を開催した。

最初に講師の有限会社菌田経営リスク研究所代表取締役の菌田恭久氏が、「BCP 策定の必要性とメリット」について基調講話を行った。

菌田氏は「BCP は緊急事態に遭遇した場合に経営資源の損害を最小にとどめ、重要な事業の継続と早期復旧を可能とするための対応策や代替手段を平常時から計画するものである。緊急事態時の対応を定める防災計画も BCP では初動対応として関連している。」と話し、BCP 策定の重要性について講話した。

引き続き、意見交換を行い、「災害時における近隣市相互援助協定」を締結している組合が、災害時に迅速な対応を行うためにどのような計画を立てておく必要があるか等、災害時の組合間連携について意見を交わした。

最後に講師が、「初動対応を迅速に行うことは重要なポイントの1つであるため、連絡が取れる方法と手段を複数確保すること。被害の程度の仮説を立てて、どのくらいの応援が必要なのか等のイメージを連携する組合間で合わせておくことが重要である。」と述べて締めくくった。



●『新春講演会』を開催

1月22日、鹿児島市の「鹿児島サンロイヤルホテル」で、新春講演会を開催した。「人を育てる・現場を育てる・組織を育てる ～業務改善5S活動の進め方～」と題して、株式会社活コンサルタント代表取締役の松田英一氏が講演を行った。

松田氏は「仕事とは、現在の業務の定常的“繰り返し作業”と将来の業績をあげるための“改善”から成っている。世の中の進歩は目覚ましく、同じことをやっていると後退に等しい。そうならないために改善を進める必要がある。また、作業には、顧客や目的に対して価値を高める作業と、「探す」「迷う」「取る」「歩く」といったマニュアルにない付帯作業があり、この付帯作業のムダを軽減することがすぐにできる改善である。そのための手法が「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰」の5Sである。これらは、あらゆる仕事の基本である。」と述べた。また、整理・整頓の改善例として、「書類を必要なものと不必要なものに区分し、不必要なものは破棄する（整理：区分と破棄）。必要なものは置き場を決め、収納ボックスなどに収納しインデックスを貼る（整頓）。整理と整頓により、「探す」「迷う」といった無駄な作業を減らせることができる。」と述べ、最後に「5S活動を推進することで組合や企業の業務改善を図っていただきたい。」と締めくくった。



● 中小企業のビジネスに効く IT活用セミナーを開催

1月23日、鹿児島市の「宝山ホール」でIT活用セミナーを開催した。

株式会社プラネットフロー代表取締役の梶原香織氏を講師に招聘し、「動画で自社サービス・商品を売り込む！ YouTube ビジネス活用セミナー」と題して講義が行われた。

梶原氏は「近年の動画投稿サイトは、投稿者から話題が生まれ流行へ繋がっているという事例が多く、特に拡散性の強いYouTubeはSNS等を介して、一人で楽しむものからたくさんの人で楽しむものへ変化しつつある。」と話し、これからの動画サイト活用のあり方として「投稿した動画は検索サイトからも検索されやすくなったため、キーワードにあたる「動画タイトル」や、「動画の説明」の選定には力を注ぐこと。さらに、統計分析では再生回数、ユーザー層等から、自社のターゲットに合致しているか常に確認することが重要である。」と述べた。

最後に講師は、今後の導入を検討している方のためにYouTubeの閲覧や投稿、キーワード検索や統計分析のテクニックを紹介して締めくくった。



● 『組合自治監査講習会』を開催

1月27日、鹿児島市の「ホテルレクストン鹿児島」で、組合自治監査講習会を開催した。

「監事の役割と監査の方法」と題し、監査法人かごしま会計プロフェッションの本田親文公認会計士が組合における監査の重要性と着眼点等について詳細に説明した。

本田講師は、「決算関係書類の妥当性・適正性を監査するにあたっては、計上された数値がどのような過程を通じて作成されたものであるかを十分理解する必要がある。十分な理解がなければ、具体的な監査手続とその業務の範囲を決めることができないため、主要な勘定科目に繋がる組合業務の流れを把握し、どのようなリスクがあるのか、どのように管理しているのか等を確認して、信頼性の程度を含め理解しておく必要がある。また、内部統制が存在するのか、有効に機能しているかを評価し、内部統制の信頼性が高い場合は監査範囲を狭くし、逆に信頼性が低い場合は範囲を拡大する等、監査の手法を変えることもポイントである。」と述べた。

最後に講師は、「決算書を見る際は「資産の実在性」「負債の網羅性」「損益項目の期間帰属の妥当性」に注意し、疑問に思ったことは担当者に確認するなど、不正が起こらないよう、様々な指摘をしていくことが監事の役目である。」と締めくくった。



組合インタビュー

～すし業の発展と食文化の振興に取り組む～

鹿児島県すし商生活衛生同業組合 理事長 松延 憲次 氏

鹿児島県すし商生活衛生同業組合の松延憲次理事長にお話をお伺いしました。

➤ 組合の歴史や設立の背景を教えてください

東京オリンピックが開催された昭和39年に同業者が集まりできた団体が前身と聞いております。昭和44年には、適正な衛生管理や健全な経営に関する指導強化等を目的に組織化された法人として生活衛生同業組合を設立しました。



➤ 業界を取り巻く環境は

寿司店は、平成2年には全国で約3万店、本県で約300店ありましたが、食の多様化や組合員の高齢化・後継者不足もあり、平成25年には全国で約8000店、県内においても約100店まで減少しています。また、ご存じのように回転すしチェーンの台頭やスーパー・コンビニ等でも寿司を販売するようになったことで、寿司店を取り巻く経営環境は大きく変化しております。

➤ 組合事業について

当組合は国民生活に特に関係の深い指定業種の事業者で組織される生活衛生同業組合として、健全な経営と衛生水準の向上を図るための指導・情報提供を行っております。

組合ホームページは全国中小企業団体中央会の支援を受け作成したもので、お寿司に関する情報提供や全国共通すし券の販売等を行っております。

また、差別化を図るため、組合員店舗で提供する2つのオリジナル商品を開発しました。「薩摩酒ずし」は、200年の昔から受け継がれてきた伝統の薩摩料理「酒ずし」を新鮮な魚介類をふんだんに使い、地酒でしめて食べやすくアレンジした商品です。「鹿児島すし三昧“匠み”」は、鹿児島の旬の海の幸を使用した厳選の特上握り10貫を統一価格（1人前3,000円）でお召し上がりいただけます。県民はもとより、観光客にも好評です。

匠み
鹿児島すし三昧



➤ 今後の抱負

これからの寿司店は、すし職人としての鍛錬に加え、経営者としての視点が一層重要になります。また、異業種からヒントを得ていくことも大切です。組合では研修会や情報提供等を通じて組合員のニーズに応えていく所存です。

お寿司は日本の豊かな食文化に生まれ、世界中から愛される食品です。私どもの使命は安全で新鮮な旬の食材をお客様に提供し続けることだと常々思っております。安心安全な旨い寿司店は、当組合HP (<http://www.kagoshima-susi.or.jp/>) から検索できますので、お近くの組合員店舗を是非ご利用ください。

〔組合の概要〕

- ◇代表者 理事長 松延憲次
- ◇組合員数 45人（平成26年3月31日現在）
- ◇主たる事業 経営指導、教育情報提供事業
- ◇組合員資格 すし店
- ◇連絡先 鹿児島市城南町37-4 TEL 099-224-2136 fax 099-224-7319



平成 26 年度補正 ものづくり・商業・サービス革新補助金公募のご案内

組合・組合員のみなさまが利用可能な補助金です。是非、ご検討ください。

試作品・新商品・新サービス開発や生産プロセスの改善などに使えます。
通常で 1,000 万円の補助(補助率 2/3 等)が出ます。
また、複数の企業が同一の事業計画に基づき各々設備投資する場合、組合が事業管理者となり申請ができます。

補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】、【共同設備投資】の3つのタイプがあります。
その中で、【革新的サービス】については「1. 一般型」、「2. コンパクト型」があります。

注. 業種の如何を問わず、【革新的サービス】、【ものづくり技術】、【共同設備投資】のいずれも申請が可能です。

	一般型	コンパクト型
【革新的サービス】	<ul style="list-style-type: none"> ・補助上限額: 1,000万円 ・補助率: 2/3 ・設備投資が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助上限額: 700万円 ・補助率: 2/3 ・設備投資不可
【ものづくり技術】	<ul style="list-style-type: none"> ・補助上限額: 1,000万円 ・補助率: 2/3 ・設備投資が必要 	
【共同設備投資】	<ul style="list-style-type: none"> ・補助上限額: 共同体で5,000万円(500万円/社) ・補助率: 2/3 ・設備投資が必要 <p>(「機械装置費」以外の経費は、事業管理者の「直接人件費」を除き補助対象経費として認めておりません)</p>	

注1. 設備投資とは専ら補助事業のために使用される機械・装置、工具・器具(測定工具・検査工具、電子計算機、デジタル複合機等)及び専用ソフトウェアの取得のための経費(以下「機械装置費」といいます。)のうち、補助対象経費で単価50万円(税抜き)以上を計上する場合を指します。

注2. 設置場所の整備工事や基礎工事については、補助対象経費として認めておりません。

注3. 【革新的サービス】の一般型、【ものづくり技術】については、設備投資が必要です。また、「機械装置費」以外の経費については、総額で500万円(税抜き)までを補助上限額とします。

なお、【共同設備投資】については、設備投資が必要です(「機械装置費」以外の経費は、事業管理者の「直接人件費」を除き補助対象経費として認めておりません。)

注4. 【革新的サービス】のコンパクト型で「機械装置費」を計上する場合、補助対象経費で総額50万円(税抜き)未満に限り対象とすることができます。

注5. 採択後の上記タイプの変更や、「設備投資のみ」から「試作開発+設備投資」への変更はできませんのでご注意ください。

補助対象要件

【革新的サービス】

- (1) 「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出等であり、3～5年計画で、「付加価値額^{注1}」年率3%及び「経常利益^{注2}」年率1%の向上を達成できる計画であること（中小企業の新たな事業活動の促進に関する基本方針（平成17年5月2日）第22ニに準じます。）。

注1. 付加価値額＝営業利益＋人件費＋減価償却費

注2. 経常利益＝営業利益－営業外費用（支払利息・新株発行費等）

- (2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

【ものづくり技術】

- (1) 「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した画期的な試作品の開発や生産プロセスの革新であること。
- (2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

【共同設備投資】

- (1) 本事業に参画する事業実施企業により構成される組合等が事業管理者となり、複数の事業実施企業が共同し、設備投資により、革新的な試作品開発等やプロセスの改善に取り組むことで、事業実施企業全体の3～5年計画で「付加価値額^{注1}」年率3%及び「経常利益^{注2}」年率1%の向上を達成できる計画であること。組合自体も事業実施企業として、補助事業に参画することができます。

注1. 付加価値額＝営業利益＋人件費＋減価償却費

注2. 経常利益＝営業利益－営業外費用（支払利息・新株発行費等）

補助対象経費

- 原材料費 ●機械装置費 ●直接人件費 ●技術導入費 ●外注加工費 ●委託費
- 知的財産権関連経費 ●運搬費 ●専門家経費 ●雑役務費 ●クラウド利用費

※設備投資のみは、●機械装置費 ●技術導入費 ●運搬費 ●専門家経費が対象になります。

公募締切

平成27年5月8日（金）当日消印有効

公募要領・申請書類

<http://mono-kagoshima.jimdo.com/> にアクセスしてください。

※公募説明会の日程は巻末の行事予定をご参照ください。

●お問い合わせ : ものづくり補助金鹿児島県地域事務局
電話 099-222-9258 FAX 099-225-2904

三好産業株式会社 経営革新計画承認

～間伐材を有効利用したバイオマス発電用木質チップの生産と販売～

このたび、三好産業株式会社（鹿児島市・有馬純隆社長）が、中央会の経営革新計画承認申請に関する支援により、間伐材を利用したバイオマス発電用木質チップの製造・販売を核とする経営革新計画を作成し、12月25日付けで鹿児島県知事から承認を受けました。

この計画は、国内の再生可能エネルギー需要が高まる中、これまで製造してきた製紙用木質チップのノウハウを生かして新分野に挑戦しようとするものです。同社では中央会から経営革新計画承認制度やそのメリット等について情報提供を受けたことをきっかけに承認申請にチャレンジしました。

同社のこれまでの取り組みや経営革新計画承認までの経緯等について紹介します。

創業以来の取り組み内容

昭和37年に先代の社長(故 有馬宏氏 元中小企業団体中央会副会長)によって創業された。以来、製紙用木質チップを製造し、中越パルプ川内工場に全量を販売してきた。

紙需要が最も高まった平成2年には約10億円の売り上げがあったが、その後の為替相場や景気の煽りを受け、売り上げは減少傾向となった。

また、近年は電子化に伴うペーパーレス化が進んでおり、パルプの製造量に売上が左右される当業界は、全体的に先行き不透明となっていた。



有馬純隆社長

新事業に取り組んだきっかけと具体的な経営革新計画の内容

平成26年2月、得意先であった中越パルプ川内工場が木質バイオマス発電所を建設する(平成27年11月完成予定)とのニュースを知り、同社ではバイオマス燃料用木質チップを製造・販売していくことを決定した。折しも為替相場は円安基調にあり、外国産チップを調達するより国内で調達したほうが安いという試算も出ていたことも決断を後押しした。

また、原料となる木材には間伐材に代表される未利用材を利用することとした。

国内の木材価格は昭和55年をピークに下落しているが、その背景には安い外国産材の輸入がある。国内の木は経費を掛けて市場に出しても安く買いたたかれるため、本来なら40～50年で切り出す予定であった杉などの立木がさらに20年以上放置される事態となっている。また、立木を生かすために行われる間伐も、間伐された材を運び出す労働力、燃料代等のコストに見合わないため、山林に放置されることが常となっている。

つまり、間伐材をバイオマスチップに加工することは、森林保全の観点からも良い影響があり、一石二鳥の取り組みであった。

なお、製紙用木質チップと発電用木質チップの違いは、バーク（樹皮）を取り除いているか否かである（発電用はバークが付いたままで構わない）ため、既存の設備を転用できる部分が多く、参入は容易であった。

経営革新については、中央会に「ものづくり補助金」を申請していた関わりでこの制度を知った。様々な補助金申請や資金調達が円滑に進められる可能性があることに魅力を感じ、即座にチャレンジする決心を固めた。

工場新設のために作成した資金計画書をベースに、製紙用チップの売り上げ見通しや必要人員、設備の減価償却費等を精査して申請書を作成した。

また、県の経営金融課の担当者からはヒアリングを通じて今後の事業展開に向けたアドバイスを受け、中央会からは繰り返し目標の数値化や文書作成などの支援を得たことで、円滑な申請手続き及び県知事承認を受けることができた。

平成26年12月末時点における県内の経営革新計画承認企業は613社であり、このような中、経営革新計画の承認を受けたことは、今後の事業展開に向けて自信を深めることにつながった。

今後の展開と抱負

県内ではバイオマス発電施設の建設が他にも予定されており、原料となる地域内の木材が不足する可能性が指摘されている。

このような中であって、有馬社長は「未利用材が間に合わなくなった場合は伐採もあり得るが、無計画な伐採は森林保全に反する」と考えており、その解決策として、植樹に取り組みたいと考えている。



バイオマス用チップ製造のため始良市蒲生町下久徳に造成・新築した始良工場。右奥は山積みされた木材。



始良工場に導入したデンマーク製移動式チップパー。搬出しづらい間伐材を山林中でチップ化できる。

《三好産業株式会社》

◇代表取締役 有馬純隆

◇業 種 木材・木製品製造業

◇従業員数 25人

◇所在地 鹿児島市鷹師二丁目4番6号

TEL 099-251-5315

HP URL: http://www.nangin.com/n NBC/n NBC_kigyou_HP/miyoshi/miyoshi.html

第11回「持分払戻請求権を行使しない 組合員への対応」について



平成 25 年 3 月に脱退した組合員から持分払戻しの請求がなされず、決算書（貸借対照表）に「未払持分」として計上されたままになっています。このような場合、どう処理したらよいのでしょうか？

はい！お答えします！



- ◆ 中小企業等協同組合法第 21 条の規定により、持分の払戻し請求権は、請求権取得の時から 2 年間行使しない場合は、時効により消滅します。
- ◆ 本ケースの場合、間もなく請求権は消滅することから、脱退した組合員に電話や郵便で連絡してみてもいいでしょうか。
- ◆ 脱退者から 2 年間持分の払戻し請求が無かった場合は、雑収入に振り替えて処理することが可能です。

〔仕訳例〕 未払持分 ××× / 雑収入 ×××



詳しいことは、中央会の担当指導員に聞いてほしいぶ～

Never Give Up! 元気を出そう! がんばれ中小企業

若手リーダーとして 地域と業界の活性化を目指す!

株式会社有川組 代表取締役 有川裕幸 氏

日本経済は、設備投資の下支えや雇用情勢の改善が見込まれるなど、全体として緩やかな回復基調にありますが、地域の建設業界を取り巻く経営環境は、建設投資の減少による競争の激化や若年入職者の減少など厳しい状況に直面しております。

こうした中、曾於市末吉町の株式会社有川組代表取締役の有川裕幸氏にお話を伺いました。

I 会社の歴史と概要

当社の歴史は、昭和 28 年 6 月に祖父が建設業として創業したことに始まります。個人経営でスタートし、有限会社を経て、昭和 50 年 2 月に株式会社有川組に組織変更し現在に至っております。私は、平成 6 年 3 月に大学を卒業すると同時に入社し、取締役、副社長を経て、平成 20 年 7 月 1 日から代表取締役を務めております。



当社は、宮崎県との県境に位置し、公共事業を中心に土木・舗装・建築・解体などの工事を請け負っています。曾於市は、南九州の代表的な農作地帯として畑地用の大規模な貯水ダムが 2 箇所あり、畑地かんがい事業がとても盛んな地域です。当社でも農業推進事業への積極的な参加を通じて、地元密着型の企業を目指しています。

関連企業としては、「有限会社末吉運送」や「しゃぶしゃぶ・焼肉の赤坂」等があり、それぞれ地域に根ざした営業活動を行っております。

II 災害及び緊急時への対応

鹿児島県及び曾於市と業界団体間で災害協定を締結しています。曾於市は、宮崎県との県境である鹿児島県大隅半島の北部に位置し、急峻な傾斜面が多く、また鹿児島県特有の軟弱なシラス土壌のため、集中豪雨等に見舞われると崖くずれ等による災害が発生しやすい自然状況下にあります。

平成 22 年 7 月の集中豪雨では、地すべりや崖崩れ、道路の路肩決壊、河川の氾濫による人家被害や農地災害等が市北部を中心に多数発生し、その対応に追われました。

当社では、災害が発生すると同業者等と連携のもと、自主的にパトロールを実施し、災害

の状況把握に努めるとともに、必要に応じて重機やダンプなどによる復旧活動に取り組んでいます。災害は、昼夜を問わず襲来しますので時には危険も伴い大変ですが、強い使命感を持って全力で作業に当たります。今後も地域から必要とされる建設業者として存在意義を果たしていかなければならないと実感しています。

Ⅲ 地域貢献への取り組み

平成18年から、職場体験学習として中学生を受入れています。平成26年度は、5月12日から16日まで5日間の日程で実施しました。建設業は、3月の年度末までに完成する工事が多いので、工場見学や重機試乗など建設業をもっとよく知ってもらうための学習プランを準備しました。



受入れた生徒が目の前でどんどん成長する姿を見るのは本当に楽しいことです。そして、彼らの成長は将来の地域社会の発展につながると同時に、職場体験学習を地域として積極的に進めることは必ずこの曾於市の知名度アップにも寄与すると考えています。

建設業は、決して楽な職業ではありませんが、自分が携わった工事が完成した時の達成感、完成した道路や構造物が地図に残せる仕事であると思うと、とてもやりがいのある楽しい仕事です。今後も、若者、そして地域社会の「夢」作りに積極的に協力していきたいと考えています。

また、河川の清掃などボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、なかでも、毎年夏には新町自治会と当社が所属する末吉町建設業協同組合が合同で末吉町の森田橋から浜田橋（マインドロード）間の河川敷の草払い等の清掃を行っています。暑い時期ではありますが、地元への恩返しと思い、地域貢献活動や河川愛護活動の一環として取り組んでいます。ここは曾於市の玄関口であり、来て頂いた方



に気持ちよくなって欲しいという思いで今後もこの活動を続けていきたいと思っています。

Ⅳ 大切にしていること

一番大切にしていることは、『社会的信頼を得る』ということです。そのために、品質、管理及び労働安全衛生の認証を取得しましたが、顧客等の信頼性につながっていると自負しています。取得前と比べると、漠然としていた業務手順、役割、責任、権限が明確になるため、一人ひとりが「その仕事のために、自分は何をすればいいのか」を自覚できるようになりました。また、時間や作業工程のムダが省けるようになっただけでなく、新入社員等が入った場合でも同じルールで作業ができるので社員教育の面からも役立っています。

V 組合青年部及び中央会青年部会長として

現在、鹿児島県建設業青年部会長及び鹿児島県中小企業団体中央会青年部会長を務めています。組合青年部会員は仲間であると同時に良きライバルでもあります。お互い切磋琢磨して厳しい時代を乗り越えていこうと考えています。そしていい形で次の世代にバトンタッチできるように一致団結して頑張りたいと思います。

また、中央会青年部会では、各種事業や異業種交流を通じて、新たな「気づき」を発見し、青年部組織の活性化を図るとともに会員間の交流の輪をさらに広げていきたいと考えております。

VI 最後に一言

私は、高校時代軟式野球部に所属しておりまして、練習は厳しく辛かったです。今となっては最後までやり遂げたことが誇りとなっています。技術だけではなく、礼儀を守ることや、相手との信頼関係の築き方など、人間としての姿勢を学べたことは財産となり、会社経営をするうえにおいてもとても役立っています。

今後、少子・高齢化及び人口減少社会が加速する中、優秀な若年労働者の確保と育成は喫緊の課題だと思っています。そのためには、業界の更なるイメージアップを図るとともに、業界の仕事や活動内容を官庁はじめ学校関係者等に幅広く情報発信していくことが重要だと痛感しています。

最後に、地域のインフラ整備、維持管理の担い手として関係機関等と更に連携を図りながら、地域の安心・安全に貢献していきたいと思っております。

《株式会社有川組》

- ◇創業 昭和28年6月
- ◇資本金 20,000,000円
- ◇事業概要 建設業
- ◇代表者 代表取締役 有川裕幸
- ◇所在地 〒893-1206 曾於市末吉町新町1-5-5
TEL 0986-76-5500 FAX 0986-76-1303



《鹿児島県中小企業団体中央会青年部会》

- ◇会長 有川裕幸
- ◇会員数 26団体
- ◇主な事業 資質向上事業（青年部講習会、青年部研究会）、チャリティ事業（ボウリング・ゴルフ大会）、PR促進事業（かごんまわっぜかフェスタ）、ボランティア事業、親睦事業（ソフトボール大会）等

鹿児島県内の業界情報

(平成26年12月情報連絡員報告)

製造業

味噌醤油製造業

12月は寒い師走となったため、荷動きは前年並みで推移した。しかし、円安による原材料価格高騰の影響が本格化するのはいずれであり、先行きの不安は払拭されていない。

酒類製造業

(平成26年11月分データ。単位k0・%)

区分	H25.11	H26.11	前年同月比	
製成数量	28,621.0	27,296.3	95.4	
移出数量	県内課税	5,899.8	4,928.6	83.5
	県外課税	7,045.3	6,480.9	92.0
	県外未納税	3,701.8	3,309.5	89.4
在庫数量	224,916.6	241,890.3	107.5	

漬物製造業

原料である干し大根は、3割減のペースで入荷している。

蒲鉾製造業

12月は、お歳暮・おせち料理等で通常月の2~4倍程忙しい時期ではあるが、今回は衆議院選挙・消費税増税・関東方面同業者の大腸菌群陽性の報道など、大変な逆風であった。また、円安により副資材等が値上げとなったことも影響し、全体的な売上は対前年同月比でマイナス5%となった。特に、関東方面でのギフト商品の落ち込みが大きかった。北海道のスリミが、前年同月比70%の水揚げ量だったことから、400円/kg程の値上げとなった。

鯉節製造業

生値の原料価格は、前月から殆ど変化がなく横ばい状態で推移した。組合では、外国人技能実習生制度を活用している企業が多いが、今年度で実習生受入れを中止するところもあり、業界としてはなかなか好転してこない状況が続いている。

菓子製造業

12月は、クリスマスケーキ製造に必要なバターが高騰し、大変入手困難な状況となった。そのため菓子業界全般は厳しい状況であった。また、例年より小さいサイズのケーキを選ぶ消費者が多かったようだ。

本場大島紬織物製造業

12月の生産反数は453反で、対前年同月比マイナス25反であった。なお、平成26年1月から12月の生産反数は5,340反で、前年よりマイナス526反という実績であった。

木材・木製品製造業

平成26年は年末年始にかけて、短期間ながら増税前の駆け込み需要により市況は好転した。昨年は、駆け込み需要時期を除き、価格は一昨年水準を上回ったものの、製材製品・原木丸太共に、大手資本への流通形態変化の影響から、先行きは極めて不透明な状況となっている。加えて、製材製品の需要にも陰りが見えており、厳しさを増している。

木材・木製品製造業

今年1年間の木造住宅新設着工戸数は、3月以降全ての月で前年比マイナスとなっている。消費税増税の影を引きずったような1年間であった。そのため、全国的にも木材業界は、活気に乏しい状況となっている。今後も新設住宅着工戸数は減少することが予想されており、受注競争は激しさを増すであろう。このような状況の中、木材業界では海外展開を視野に入れた動きが始まっており、グローバル化が避けて通れない情勢である。

生コンクリート製造業

出荷量は166,447立米で対前年同月比84.7%であった。特に減少した地域は串木野・川薩・姶良伊佐・垂水桜島・大隅・南隅・種子島・屋久島・奄美大島・甌島・喜界島、特に増加した地域は宮之城であった。官公需・民需ともに大幅に減少し、県全体としても対前年比で増加した地域は宮之城地区のみであった。

コンクリート製品製造業

12月の出荷トン数は12,577トンで、対前年同月比83.6%となった。県内全体的に出荷量が減少しており、特に奄美地区においては対前年同月比46.2%となっている。12月は受注も芳しくなく、今後の発注増加に期待がかかる。

畳製造業

梅雨明け前後の天候不順の影響により、年末の需要時期に仕事量が増えない状況である。

印刷業

選挙の効果からか、一時的に印刷業界に活気が感じられた12月であった。年末時に見受けられる廃業等も今回はなく、昨年同時期と比較すると若干持ち直してきた感がある。この状況が持続して、本格的な景気回復となることが望まれる。

非製造業

卸売業

円安による価格転嫁が難しい状況にある。「住宅エコポイント」の復活に歓迎の声があるように、きめ細かな経済政策を望む意見が多い。現在のところ、景気がよくなっているという雰囲気は未だない。

燃料小売業

世界的な原油安を受けて、原料の仕入価格は引き続き下落している。1月も仕入価格は下がる見込みであり、今後消費者への小売価格も下がると思われる。

中古自動車販売業

依然として非常に厳しい状況である。新春から3月~4月期にかけての需要時期に期待したい。消費税増税が先送りされたことは、中古車業界にとっては良かったと思われる。

青果小売業

12月は対前月比145%、対前年比102.5%であった。

農業機械小売業

決算期を迎える企業もあり、売上はかなり増加した。円安が加速しているが、現在のところ、農機においては影響は受けていない。米価の下げ止まりの方がむしろ気掛かりであるが、回復には時間がかかりそうである。

石油販売業

原油は、11月のOPEC総会での減産見送りにより、需給バランスが揺らいだことで価格下落を招く結果となった。アメリカの新型原油シェールオイルも採算割れの状況となっている。一方、小売販売業界は、仕切り価格が下げ基調に推移し、1ヵ月間で13円/ℓも下落した。従って、マージンは回復基調で進んでいる。

鮮魚小売業

12月は、25日以降に正月商品の売上が伸びたが、年々蒲鉾類の売上は減少傾向にあり、正月におせち料理を食べる消費者が少なくなってきた感がある。

商店街（霧島市）

商店街の12月の売上は減少傾向であった。6つの通り会で構成するこくぶ通り会連合会は、全国商店街支援センター事業と霧島市の補助を活用し、連合会エリア（約30㌔）に17台の防犯カメラを設置した。また、今年度3回目の国分まちなか情報誌「ひとReet」冬号を発行したところ、約1ヵ月で1万部が無くなるほどの盛況であった。通り会の会員には飲食店も多いため、霧島市の観光は自然だけでなく街中も観光地としての魅力を発揮できるよう、飲食店と社交業の組織化を進める動きが出ている。

商店街（鹿児島市/天文館地区）

全体的に昨年12月と比較すると状況は良くなかった。4回目を迎えた「年末だよ天文館全員集合」は、中央地区全体で実施したイベントであり、実施期間中は来街者も大きく増加した。一方で、お歳暮・クリスマス・年末のいずれも人出の少なさが目立った。歳末大売り出しに際しては、抽選所を設置しているが、前年比で85%と伸び悩んだ。

サービス業（旅館業/県内）

12月前半、忘年会シーズン真っ只中に衆議院選挙が行われたことで、宴会等の数が減少し、前年より売上が減少した施設が多かった。後半は、正月休みの入りが例年より早い企業が多かった影響もあり、観光地を中心に宿泊客数が前年より好調な施設が多く、やや持ち直した感がある。

美容業

12月は、本来は年間でも忙しい時期であり、売上も多い月である。しかし、来店客数の減少・客単価の低下などにより、長期的な低迷が続いている。

旅行業

例年12月の売上高は伸びない傾向にあるが、今回は年末年始の連続休暇が長く、人気のある温泉宿泊地の指宿・霧島は県外からの予約が多く満室状態であった。会員個々の企業にばらつきはあるものの、全体的に家族旅行等の取扱い状況が、昨年に比べ微増であった。

建築設計業

国土交通省がまとめた建築設計業務50社の動態調査によると、平成26年10月に実施設計に着手した概算延床面積は331万5000㎡となっており、対前年同月比で19.7%の増加となっている。組合員の事務所も、多忙なところとそうでないところの2極化が進んでいるように感じる。

自動車分解整備・車体整備業

年末は数日、忙しい日があったが、結果的には前年並みの動向であった。年明けの初商い等で、中古車市場が活況となることを期待したい。

電気工事業

官公庁等の大型工事・太陽光設備工事事件数の増加により、技術者の不足が顕著となっている。そのため、工期内完成に大きな支障をきたしている状態である。その結果、労務単価も上昇している。

造園工事業

年末に向けて、公共工事の作業の追い込みのため臨時的に人員を増やし、作業の早めの進捗に取り組んだ。また、年末ということもあり、企業・個人宅の剪定作業も増加傾向であった。

建設業（鹿児島市）

建設業に従事する人が年々少なくなり、工事施工の工程を組むことが厳しくなっている。公共事業費の地方への配分が減少傾向にあるようだ。

建設業（曾於市）

公共工事の減少が売上高に大きく影響しているため、今後の予算増加を期待したい。

貨物自動車運送業

12月に入り、燃料価格はかなり下がってきた。また、年末年始の交通事故防止運動が実施され、早朝・夕暮れ時・夜間における交通事故防止など、交通マナーの実践を習慣づけた。

運輸業（個人タクシー）

12月は年間で最も忙しい時期であるが、衆議院選挙と忘年会シーズンが重なったことで心配もあったが、大きな落ち込みもなく乗車率は上々であった。

倉庫業

景気回復になかなか期待を持ってない状況での年越しとなった。

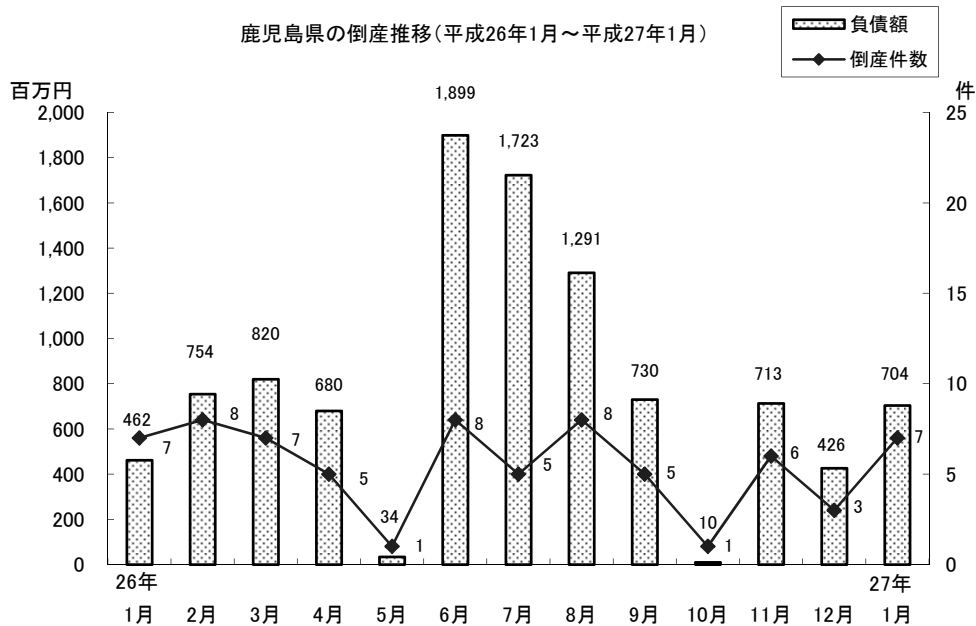
平成 27 年 1 月 鹿児島県内企業倒産概況

(負債額 1,000 万円以上・法的整理のみ)

(株)帝国データバンク 鹿児島支店

件数 7 件 負債総額 7 億 400 万円

〔件数〕前年同月比 増減なし 〔負債総額〕前年同月比 52.4%減



【概要】

平成 27 年 1 月の鹿児島県内の企業倒産(負債額 1,000 万円以上・法的整理)は、件数で 7 件(前月比 133.3%増、前年同月比増減無し)、負債総額は 7 億 400 万円(前月比 65.3%増、2 億 7,800 万円増、前年同月比 52.4%増、2 億 4,200 万円増)となった。

【各要因別】

- ・業種別では、製造業 1 件、小売業 2 件、サービス業 1 件、運輸・通信業 2 件、その他 1 件
- ・主因別では、販売不振 7 件
- ・資本金では、100 万円～1,000 万円未満 4 件、1,000 万円～5,000 万円未満 3 件
- ・負債額では、1,000 万円～5,000 万円未満 4 件、5,000 万円～1 億円未満 1 件、1 億円～5 億円未満 2 件
- ・地域別では、鹿児島市 3 件、北薩地区 1 件、霧島・始良地区 2 件、大隅地区 1 件

【ポイント】

1 月度の倒産件数は前月を 4 件上回る 7 件であり、負債総額も 3 億円近く上回る結果となった。倒産の態様は破産 6 件、特別清算 1 件であった。

【今後の見通し】

1 月度の倒産件数は前月の 3 件から 4 件増の 7 件となった。倒産に至った 7 件の内 6 件は平成 26 年までに事業停止もしくは外部企業に事業譲渡していたもので、1 月に事業を停止し法的整理となったのは (株) F のみであった。業種的には特に大きな偏りはないものの、グループ会社のタクシー会社 2 社の破産が目につく。運送業者や建設業者などは特に人手不足による行き詰まりといったものは発生していないが、マンパワーに強く依存するタクシー業界においては、人材確保による稼働率を維持できている企業と、慢性的な人手不足により稼働率が低下している企業との格差が広がりつつある様子も見受けられ、今後更に業界内での統合といったものも予想される。

土木工事をはじめ建設業の倒産は皆無であったが、業界全体の倒産動向が沈静化した状況にはなく、既に年末、年始の決済が不調に終わった企業も散見される状況にあり、年度末にかけて安定した受注状況を維持できなければ再度倒産件数が増加に転じる可能性もあろう。

県内景況としては持ち直しの状況にはあるものの、景気を牽引するような特定の業種といったものも見あたらない状況。

前年の 2～3 月は卸、小売業にとっては消費増税前の駆け込み需要といった追い風要因を受けた業種も多く、そういった恩恵に支えられた企業にとっては自ずと前年実績を割り込むケースが多くなるもので、倒産件数の動向についても年度末にかけて増加に転じる可能性は少なくない。

平成 27 年 1 月企業倒産状況 (法的整理のみ)

企業名	所在地	業種	負債総額 (百万円)	資本金 (千円)	態様
(有) M	垂水市	農機具販売	110	3,000	破産
(株) F	鹿児島市	菓子類製造	455	20,000	破産
(株) N	薩摩川内市	農作物生産	50	20,000	特別清算
(有) F	霧島市	昆虫等小売	24	8,000	破産
F (有)	始良市	タクシー業	25	3,000	破産
(有) N	鹿児島市	タクシー業	10	4,000	破産
(株) M	鹿児島市	建築設計	30	10,000	破産
7 件					7 億 400 万円

中央会関連主要行事予定

平成27年3月	
4日(水) 16:45	中央会理事会 鹿児島市「ホテルレクストン鹿児島」
6日(金) 16:00	組合事務局講習会 鹿児島市「アーバンポートホテル鹿児島」
17日(火) 13:30	ものづくり・商業・サービス革新補助金公募説明会(組合向け) 鹿児島市「ホテルウェルビューかごしま」
18日(水) 13:30	創業補助金「事業化等状況報告書提出及び収益納付」に係る説明会 鹿児島市「鹿児島サンロイヤルホテル」
平成27年4月	
23日(木) 13:30	中央会理事会 鹿児島市「ホテルレクストン鹿児島」

表紙・本文中に登場する
「ぐりぶー」「さくら」は
鹿児島県のPRキャラクターです♪

©鹿児島県ぐりぶー・さくら#195



ものづくり・商業・サービス 革新補助金 公募説明会

「平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金」の公募が開始されましたので、下記のとおり説明会を開催致します。

《霧島市》

日時 平成27年3月3日(火)

13:30~15:30

場所 霧島市「国分シビックセンター」

《鹿屋市》

日時 平成27年3月4日(水)

13:30~15:30

場所 鹿屋市「鹿屋商工会議所」

《薩摩川内市》

日時 平成27年3月6日(金)

13:30~15:30

場所 薩摩川内市「薩摩川内市国際交流センター」

《奄美市》

日時 平成27年3月11日(水)

13:30~15:30

場所 奄美市「奄美サンプラザホテル」

【組合・組合員対象】

《鹿児島市》

日時 平成27年3月17日(火)

13:30~15:30

場所 鹿児島市「ホテルウェルビューかごしま」

【お問い合わせ】

ものづくり補助金鹿児島県地域事務局
(中央会内) TEL 099-222-9258

中小企業かごしま (平成26年度 活性化情報第4号)

発行人 鹿児島県中小企業団体中央会 会長 小正芳史

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 県産業会館5階

TEL 099-222-9258 FAX 099-225-2904

HP <http://www.satsuma.or.jp/>

印刷所 斯文堂株式会社